

広島県中小企業団体中央会 2016年10月分情報連絡一覧表

食料品

●食料品

中国醤油醸造協同組合

10月の出荷量は前月比5.8%増加、前年同月比29.7%増加、売上高は前月比3.1%増加、前年同月比15.7%増加となった。

木材・木製品

●木材・木製品

福山木材協同組合

年内は忙しいが、来年はどうか未定である。

広島県木材協同組合連合会

平成28年9月の全国の住宅着工戸数は85,622戸で、前年同月比では10.0%増加、また、季節調整年率換算値では98.4万戸（前月比3.0%増加）となった。利用関係別では、持家は25,573戸で前年同月比1.4%増加、貸家は38,400戸で前年同月比12.6%増加、分譲住宅は21,339戸で前年同月比17.0%増加となった。なお、木造住宅の着工数は49,733戸で、前年同月比10.1%増加となった。

住宅着工の動向は、前年同月比で3ヶ月連続の増加となったが、引き続き、今後の動向をしっかりと注視する必要がある。

こうした全国の動きに対し、広島県内の9月の着工戸数は1,609戸で前年同月比18.0%の増加、このうち、持家は562戸で前年同月比20.3%の減少、貸家は593戸で前年同月比12.3%増加、分譲は437戸で前年同月比18.8%の増加となった。県全体の住宅着工の動向は、前年同月比で3ヶ月連続の増加となったが、地域別では、広島市は着工戸数811戸で37.5%増加となった一方で、福山市は247戸で10.8%減少、廿日市市は91戸で43.5%減少、東広島市は87戸で20.2%減少、呉市は76戸で変化なしと地域間でばらつきが見られる。また、好調なプレカット部門に対し、依然低調な製材部門など、会員、業態によって売上や収益等に好不調の差があるとの聞き取り結果となっており、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

印刷

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

組合員が減少した。

化学・ゴム

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

先月とほぼ同じ状況である。自動車業界においては、生産現場の人員不足に拍車がかかり、間接人員による応援も考慮せざるを得ない。

国内生産台数が減少する中で、少人数化・合理化設備への投資も避けられないという矛盾が収益を圧迫している。11月の米国大統領選挙の行方も要注目である。

医薬品製造業

●広島県製薬協会

会員会社が1社減となった。

窯業・土石製品

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

28年10月 3,345m³ (対前年1.98%増加)

28年 9月 3,253m³

27年10月 3,280m³

一般機器

●一般機械器具

協同組合三菱広島協力会

広島県西部江波地区においては、航空機のパネル組立が8機/月ペースで推移しているが、操業はやや下降気味である。したがって、協力会社各社の操業もピークを過ぎている状況にある。

観音地区においては、低操業の状況にある。

広島県東部機械金属工業協同組合

設備案件が少し増加に転じたことに伴い、前月比10%増加、前年同月比2%増加となった。

電気機器

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は前月比、前年同月比共に変化なしとなった。輸出物件が多少動いている。国内はスマートメーター以外は横ばい傾向にある。

今年も最低賃金が上昇し、経営を圧迫している。取引先に価格交渉をしているが、厳しい状況である。また、残業規制が厳しくなれば大いに経営を圧迫する。雇用問題、賃金問題、残業規制など中小企業にとっては厳しい問題が多い。

オリンピック需要があるのかどうか不安もある。

輸送用機器

●輸送用機械器具（自動車）

東友会協同組合

10月の国内自動車販売台数は全需が378千台、前年同月比0.4%減少と2ヶ月連続の前年割れとなった。登録車は前年比0.8%増加と3ヶ月連続の前年超え、軽自動車は2.4%減少と22ヶ月連続の前年割れとなった。マツダ車は14.3%減少と13ヶ月連続の前年割れとなった。

アメリカの9月の全需は1,436千台で前年同月比0.5%減少と2ヶ月連続の前年割れ。マツダ車は同2.8%減少と2ヶ月連続の前年割れとなった。

欧州の9月の全需は1,652千台で、前年同月比4.9%増加と2ヶ月連続の前年超えとなった。マツダ車は同3.2%減少と2ヶ月連続の前年割れとなった。

中国の9月の全需は1,969千台で、前年同月比2.7%減少。マツダ車は48.7%増加と4ヶ月連続の前年超えとなった。

上記各地域の状況下、マツダ車の9月の海外販売合計台数は129千台、前年同月比8.2%増加と6ヶ月連続の前年超えとなった。

マツダの9月の輸出動向については、輸出台数は前年比11.5%減少と2ヶ月振りの前年割れとなった。

マツダの9月の国内生産台数は、前年同月比2.0%増加と2ヶ月連続の前年超えとなった。

●輸送用機械器具（造船）

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の平成28年10月の船舶建造許可実績は9隻754,550総トン(前月5隻209,500総トン、前年同月6隻272,850総トン)であった。なお、このうち8隻は貨物船で1隻が油

槽船となっており、全て輸出船となっている。

(社) 中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

●輸送用機械器具（造船関連団地）

呉鉄工業団地協同組合

船舶関連の不況により、他の企業の受注も減少し、全体的に景況が悪化している。

その他

●家具・装備品

広島家具工業協同組合

全体としては、リビングセットがやや苦戦、ダイニングは横ばい傾向である。ベッドについては堅調に推移しているが、9月後半から若干販売単価が下がってきている。

コントラクト（ホテル、娯楽施設等）関係は好調で、売上に寄与している。今後2020年の東京オリンピックにむけての木製品の受注に期待したい。

卸売業

●卸売業（総合）

協同組合福山卸センター

婦人アパレル企業では、残暑が長かったため、秋物衣料の販売不振があり、冬物衣料の投入に遅れが生じている。

協同組合広島総合卸センター

「資材関連」においては、8月の住宅着工件数が増加傾向にあり、中でも持家、貸家が堅調であった。

太陽光発電は売電価格が低下しており、受注が難しくなっている。

「食品」においては、外食向けは、対前年比マイナスで推移。大手外食産業は価格引下げ傾向である。

「繊維」においては、10月は暖かい日が続き、冬物衣料は低調で推移している。最低賃金の引上げを受け、収益は厳しいがやむなく時給を上げた企業もある。

「雑貨」においては、生活雑貨の売上は、前年割れ。昨年同時期に爆買い現象があったが、今期、爆買いは減少。デフレ気味である。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

今月も住宅着工は順調に推移しているが、民間の非住宅物件においては、苦戦が続いている。

太陽光発電設備案件に代わる規模の工事は現在のところ発生していないが、今後ZEH（ネットゼロエネルギーハウス）と公共建物の省エネルギー化事業の拡大に期待している。

●卸売業（家具）

リビズ株式会社

今月、2店舗閉店した。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

国内の主産地である熊本は、生産（製織）はフル稼働状態で、秋の展示会も終わり、本格的な需要シーズン到来といったところである。価格は横並びであるが、今後は若干上昇するものが見えている。

広島県においては、注文生産の状態で価格は強含みである。

一方、中国産畳表では、生産はフル稼働状態で、価格は横並びで推移している。輸入業者も

買いに動いており、良い品物・工場からの輸入が活発になっている。

全般的に品物の動きは活発化しており、年末までがピークで以後は来年2月・3月ごろと見ている。

小売業

●各種商品小売業

チューリップチェーン商業協同組合（チェーンストア）

10月の売上は、前月比増加、前年同月比減少となった。

9月の日照不足により、野菜の相場が高騰した。このことで、販売単価が上昇したことと、学校給食の納品が増加したことが売上好転の要因である。しかし、利益面では、単価が高いことと、一部入札制となり利益を上乗せしにくい状況により、減少している。

協同組合三次ショッピングセンター

カープセールやイベントの日は集客数は伸びているが、通常の日が極端に悪い。商圏内へのドラッグストア（食品・日用品の安売り）進出や、休日の市外への流出増加が影響している。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

10月度の販売実績は前年同月比4.4%減少となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比1.4%減少、BDレコーダー同6.9%減少、音響・車載機器同16.3%減少、冷蔵庫同3.4%減少、洗濯機同2.7%増加、エアコン同1.0%増加、エコキュート同7.5%減少、IHクッキングヒーター同3.4%減少となった。

商店街

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

客数の減少に伴い、喫茶店が10月初旬廃業した。

空き店舗の再利用に関し、元歯科医院の建物を取り壊し、賃貸事務所・住宅の建設が具体化している。着工は来年2月で、9月末の完成を予定している。

障害福祉サービス事務所の移転開設に向け、準備が進められ、11月1日に開設する。

広島金座街商店街振興組合

カープ優勝特需による売上増が継続している。カープ効果を実感している。

サービス業

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比6.2%増加、前年同月比8.4%増加。車検場収入は前月比5.2%増加、前年同月比10.0%増加。重量税・登録印紙の売上は前月比3.9%減少、前年同月比4.1%の増加となっている。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

カープ優勝に伴う特需により、若干売上は増加した。しかし、年末にかけて受注は減少が予想される。

建設業

●工事業

神辺建設業協同組合

燃料や人件費上昇による価格改定が多くの建設資材で見られるが、公共工事で採用される資材価格の改定が追いついておらず、業者の収益が伸び悩んでいる。

福山地区電気工事業協同組合

今月は、電化住宅の新築、リフォームが大幅に増加した。また、太陽光発電申請も増加傾向にあり、前年同月比42%増加、前月比175%増加となった。

広島県室内装飾事業協同組合

10月の売上については、前月比1.4%と微増、前年同月比26.6%と大幅な減少となった。累計では4.9%増加と9月実績に比べ、やや伸び率が下降気味である。下半期のオフィス、ホテル、商業施設の竣工に期待したい。

社会保険等の未加入対策としての法定福利費の確保（見積、契約）や安全衛生講習受講の義務化（公共工事、建築下請）等、事業主、被雇用者共に守るべき事項が確実に増えており、内装仕上げ業においてもコンプライアンス重視は命題となっている。

運輸業

●道路貨物運送業

広島県ロジネット協同組合

10月の荷動きは、前年比やや増加となった。粗鋼関連は堅調な動きを見せており、生産・出荷共に上向きである。紙関連・飲料関連も堅調に推移した。前月に比べ荷物量は増えたが、荷物と車両のバランスがとれており、車両不足で困るという状況にはならなかった。しかし、今後12月まで増加の傾向をたどると予想しており、11月末から12月の第3週までは車両不足が予想される。

軽油価格は減産合意から値上げ基調にあり、3円～5円/L程度値上げとなった。原油価格は5円/L程度値上げとなっており、国内の生産メーカーなどはガソリン・軽油のバランスを考えながらの生産になったようである。在庫抱え込みのリスクもあり、大きな買いはみられないようである。

広島輸送ターミナル協同組合

10月は各組合員の取り扱い荷物が前年同月比10%強減少した。原因は不明であるが、これが一過性のものか、今後注意が必要である。

松永地区トラック事業協同組合

売上高、収益状況とも前月比、前年同月比に大きな変化は見られない。

軽油単価の動向について、OPECと主要産油国間での原油価格の上昇に向けた生産調整の会議で、OPEC加盟国ごとに割り当てる生産量について合意に至らず継続協議となったとの報道がされており、今後の協議内容によっては原油価格、ひいては軽油価格に影響を及ぼすことも考えられる。現在のように小幅な動きであれば問題はないが、大きく上昇するようなことが起これば、収益状況が悪化することは避けられないと思われる。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。運賃、用船料の改善が見られない。

その他

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

今月は公的評価（広島県の地価調査）の報酬が入金され、前月比では売上、収益状況、資金繰りが若干好転した。

前年同月比は特段変化はみられない。

新規加入組合員が1名あった。